

# IT経営カンファレンス2022 in 仙台

2023.02.17(金) 13:30～17:30

主催：一般社団法人みちのくIT経営支援センター  
共催：特定非営利活動法人ITコーディネータ協会



## プログラム

	開会の挨拶
13:30 ~ 13:40	一般社団法人みちのくIT経営支援センター
	東北地域のデジタル化・DXの状況と取組について
13:35 ~ 14:30	東北経済産業局 地域経済部 製造産業・情報政策課 参事官(デジタル政策担当) 千葉 雅幸 様
	中小ニッチ製造業の当社におけるIT化の変遷と今後の課題
14:35 ~ 15:20	株式会社アステム 取締役 統括部長 西山 基広 様
15:20 ~ 15:35	休憩
	小規模事業者向けのDX支援事例と地域の現状 ～宮城県よろず支援拠点の事業説明と支援事例～
15:35 ~ 16:20	宮城県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 佐藤 創 様
	パネルディスカッション 「これからの東北地域におけるDX」
16:25 ~ 17:25	アステム/西山様、ナナイロ/中島様、よろず支援拠点/佐藤様
	開会の挨拶
17:25 ~ 17:30	一般社団法人みちのくIT経営支援センター

*Memo*

# **東北地域のデジタル化・DXの状況と取組について**

東北経済産業局 地域経済部 製造産業・情報政策課  
参事官(デジタル政策担当) 千葉 雅幸 様

## 講師プロフィール

氏名

千葉 雅幸 (ちば まさゆき)

所属 (役職)

東北経済産業局 地域経済部 デジタル政策担当参事官

出身地

宮城県登米市

仕事 (専門領域) の経歴

経済産業政策において主に産業保安、エネルギー政策、  
地域経済振興、デジタル分野を担当

得意領域、  
力を入れている分野

現在は地域企業のデジタル利活用、DX推進、情報サー  
ビス産業の振興を担当

配布資料はありません

*Memo*

# 中小ニッチ製造業の当社におけるIT化の変遷と今後の課題

株式会社アステム  
取締役統括部長 西山 基広 様

## 講師プロフィール

氏名	西山 基広 (にしやま もとひろ)
所属 (役職)	株式会社アステム 取締役統括部長
出身地	宮城県
仕事 (専門領域) の経歴	社会人初期に組込ソフト開発に従事するが、形の見えないソフトの仕事が不向きだと悟り、FA技術者に転向して鍛錬を積む。2001年に(株)アステムに技術者として入社したが、物好きの性か、製造、営業など全方位的に経験。良くも悪くも器用貧乏。経営の道に入った後は盛和塾で学び、稻盛哲学を羅針盤とする。
得意領域、力を入れている分野	経営全般に従事。継続的会社成長のための新事業開発と、それに必要な組織体制の構築および人材育成を同時平行で行うことに全集中している。
現在の立場	日本吹出口工業会 委員

配布資料はありません

*Memo*

# **小規模事業者向けのDX支援事例と地域の現状**

## **～宮城県よろず支援拠点の事業説明と支援事例～**

宮城県よろず支援拠点  
チーフコーディネーター 佐藤 創 様

## 講師プロフィール

氏名	佐藤 創 (さとう そう)
所属 (役職)	宮城県よろず支援拠点 チーフコーディネーター
出身地	宮城県栗原市
仕事 (専門領域) の経歴	<p>1998年：情報システム開発会社で大規模インフラ情報システムや、企業向け情報システムの開発・導入コンサルティングに従事。</p> <p>2017年：経営コンサルティング業にキャリアチェンジ。法人設立し代表就任。</p> <p>2019年：宮城県よろず支援拠点のチーフコーディネーターに就任。県内中小企業支援及び拠点運営に従事。</p>
得意領域、力を入れている分野	新規事業開発・事業戦略による売上拡大、IT導入・活用による生産性向上および販路開拓、金融支援を伴う経営改善・事業再生

# 小規模事業者向けの DX支援事例と地域の現状

宮城県よろず支援拠点  
チーフコーディネーター佐藤創

# 宮城県よろず支援拠点 チーフコーディネーター

さとう そう  
**佐藤 創**



あなたの「現状を変えたい」思いを確実に形にし、  
未来と感動を創り出す変革の経営コンサルタントです

**未来志向**

**挑戦**

**有言実行**

- ✓ 情報システム開発会社で大規模インフラ情報システムや、企業向け情報システムの開発・導入コンサルティングに携わった後、2014年から中小企業の経営支援に従事。
- ✓ 得意な支援ジャンルは、新規事業開発・事業戦略による売上拡大、IT導入・活用による生産性向上および販路開拓、金融支援（リスケ等）を伴う経営改善・事業再生。



宮城県よろず支援拠点(宮城県商工会連合会内)

チーフコーディネーター

佐 藤 創

Sato

(中小企業診断士、高度情報処理技術者、キャリアコンサルタント)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号  
(宮城県商工振興センター2F)  
TEL.(022)225-8751(代表)  
FAX.(022)265-8009番

E-mail:sato\_0211@office.miyagi-fsci.or.jp

宮城県よろず支援拠点 サテライトオフィス上杉  
(実施機関 宮城県商工会連合会)

〒980-0011仙台市青葉区上杉一丁目16番8号(プロスペール本田3F)  
TEL.(022)393-8044 FAX.(022)393-8045

セミナー情報や拠点情報はWebサイトから！

[www.yorozu.miyagi-fsci.or.jp](http://www.yorozu.miyagi-fsci.or.jp)

補助金等最新情報は  
メルマガ登録をおすすめします！

みやぎよろず 検索



拠点の活動状況や経営コラムはfacebookから！

@miyagiyorozu

[www.yorozu.miyagi-fsci.or.jp/mailcontact.html](http://www.yorozu.miyagi-fsci.or.jp/mailcontact.html)

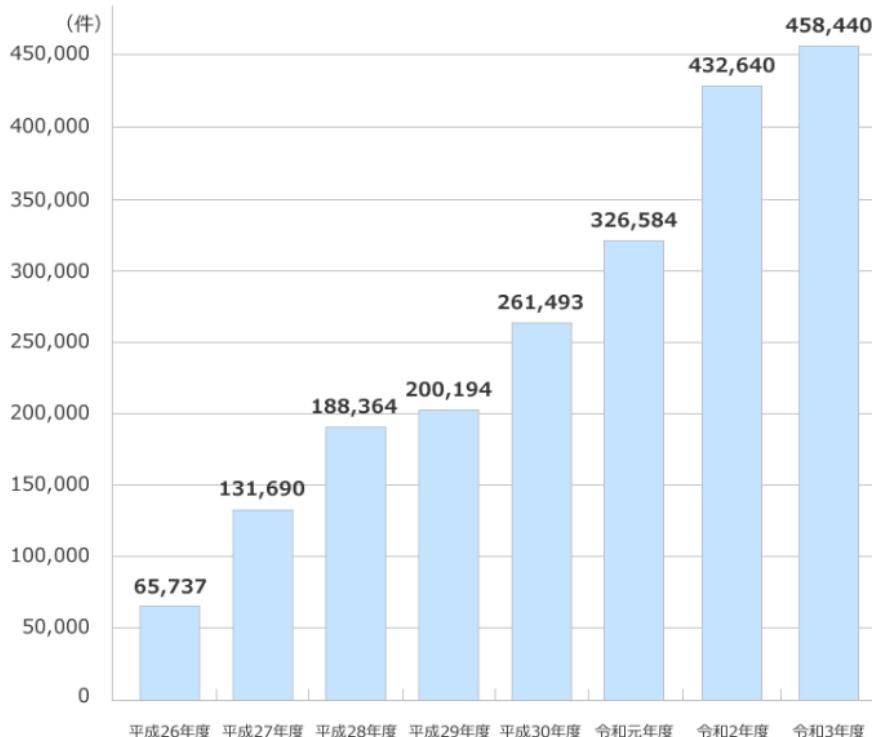
# ● よろず支援拠点とは？

- 国(中小企業庁)が設置した無料の経営相談所です。
- 10名以上の専門家がチームで相談を承ります。
- 相談は何度でもOK。成果が出るまで具体的なアドバイスをいたします。

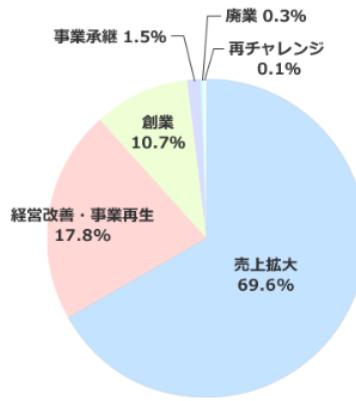


# よろず支援拠点の実績など

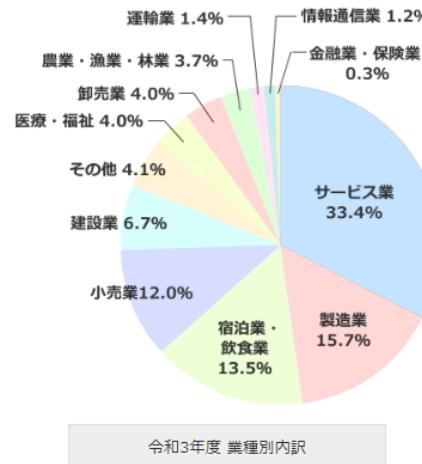
- 45万件/年 超の相談件数
- 創業予定者17%
- 小規模事業者(20名以下)70%強



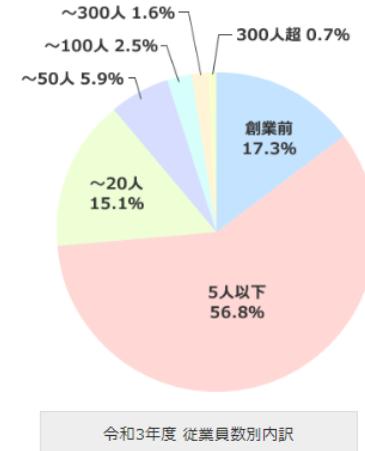
相談対応件数の推移



令和3年度 相談内容内訳



令和3年度 業種別内訳



令和3年度 従業員数別内訳

(出典:よろず支援拠点全国本部のWebサイトより引用)

# 東北各県のよろず支援拠点



TEL 017-721-3787

## 秋田県よろず支援拠点

TEL 018-860-5605

## 岩手県よろず支援拠点 by 中小企業庁

TEL 019-631-3826

想いをカタチにする経営相談所 宮城県よろず支援拠点

TEL 022-393-8044

## 山形県よろず支援拠点

TEL 023-647-0708

## 福島県よろず支援拠点

TEL 024-954-4161

# ● 宮城よろずは「想いをカタチにする経営相談所」！

想いをカタチにする経営相談所 宮城県よろず支援拠点

経営のお悩み解決します。  
あなたのチャレンジ、  
本気でカタチにしませんか？

あなたのチャレンジを、経営のあらゆる分野のエキスパート達が全力サポートします！  
新商品開発のアイディアが欲しい、人手不足を解消したい、集客を図りたいなど、  
あなたの課題に沿って具体的な提案をし、ワクワクする未来に向けて共に歩んでいきます。  
相談満足度94%、売上拡大などの具体的成果が出た方が63%。  
「よろずに相談してよかった」「売上が拡大した」「創業できた」など、喜びの声が届いています。  
あなたのチャレンジを、ぜひ我々にも聞かせてください！



予約制  
お困り事相談  
無料

セミナー情報や拠点情報は Web サイトから

 [www.yorozu.miyagi-fsci.or.jp](http://www.yorozu.miyagi-fsci.or.jp)

みやぎよろず 検索



拠点の活動状況や経営コラムは facebook から

 @miyagiyorozu

# 地域の中小企業の真の課題とは



## 複合問題への対応

- ✓ 課題を解きほぐし優先順位を設定
- ✓ ゴールと、ゴールまでの進め方を合意

## 専門課題への対応

- ✓ 具体的な課題に高い専門性で応える
- ✓ 事業者へのレクチャも含め継続支援する

支援の入り口から出口までの一貫支援ができ、  
「想い」を「カタチ」にする、よろず支援拠点へ

# 令和4年度メンバー構成

## ゼネラリスト専門家

拠点統括チーフ  
コーディネーター

サブチーフ  
コーディネーター

拠点運営  
マネージャ



佐藤 創  
販売促進/IT活用  
広報/事業戦略

遠藤 さゆり  
飲食メニュー開発  
販促企画/SNS

室岡 庸司  
商品開発/IT活用  
事業計画

菅野 史朗  
経営改善計画  
事業承継

渡辺 晋也  
金融支援  
資金繰り

## 経営センター



伊藤 翔太  
経営相談員

本宮 直  
経営相談員

## スペシャリスト専門家



木村 俊一  
IT・Webツール  
利活用

伊藤 幸子  
広告デザイン

鈴木 陽  
動画/商材撮影  
広告デザイン

木全 崇仁  
商品開発/広報  
ネーミング

倉島 史明  
販路開拓/売場改善  
マッチング

深澤 俊博  
経営法務  
弁護士

高橋 広之  
人事・労務  
社会保険労務士

経営課題を整理しアクションプランを提案するゼネラリストと、  
具体的な課題への対応を行うスペシャリストの連携でご支援いたします！



# 本業強化につながるミニセミナー

- 具体的で、明日からすぐ使える実践的セミナーを中心に実施しています。
  - 事業者の本業を強化する具体的・実務的セミナーに特化しています。
  - すべてオンラインセミナーですので、どこからでも参加可能です。

# 当拠点の情報発信メディア



Web サイト



facebook



Instagram◀

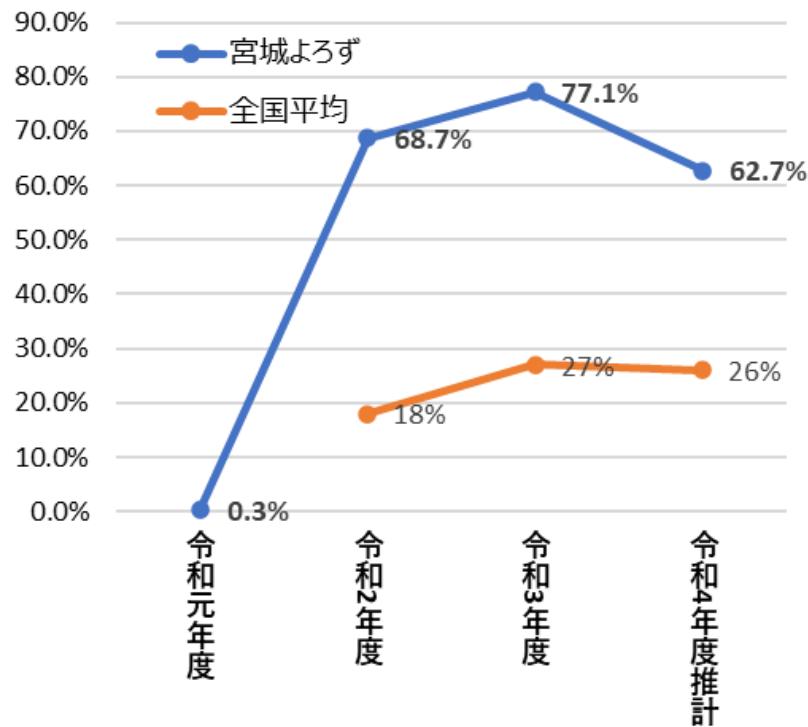
## 県内の中小事業者へ 経営改善・売上拡大・生産性向上を 三位一体で一貫サポート！

- ① 県内にデジタル化・DXによるIT活用/投資機運を醸成
- ② 事業の未来が開ける、経営者の未来を創る事業サポート
- ③ 各種専門団体・民間機関・公的機関とのコラボレーション

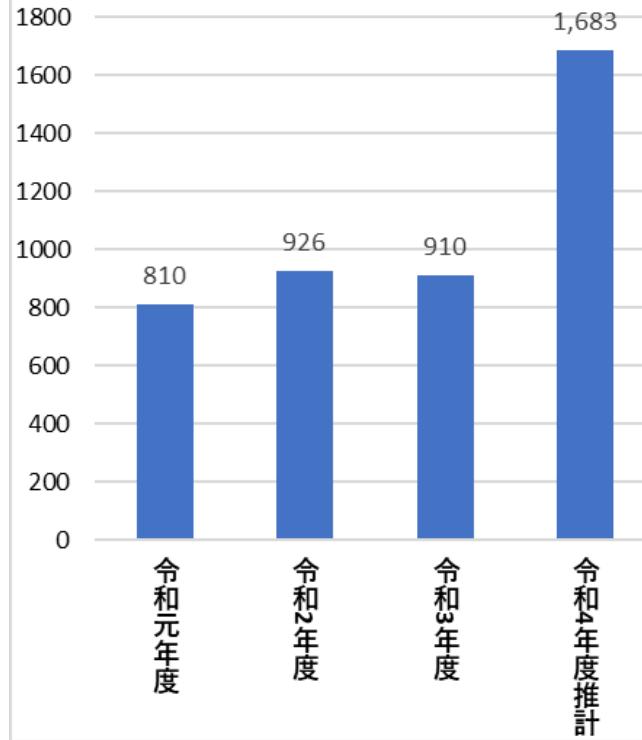
# 宮城よろず・経営支援におけるIT/DX推進



## オンライン（TV）相談割合



## 名寄せ後の事業者数推移

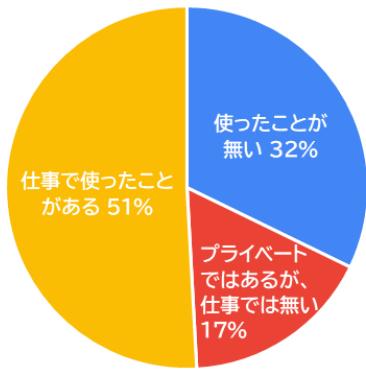


- 新型コロナによる全国緊急事態宣言下より、テレビ会議を用いた経営相談に協力にシフト。コロナ禍(ピンチ)に対応し、**テレビ相談割合は全国トップクラス**へ。
- **テレビ相談を強化**することで、相談事業者数が急激に増加。  
拠点運営の更なる効率化(時間当たり相談件数アップ)を実現。

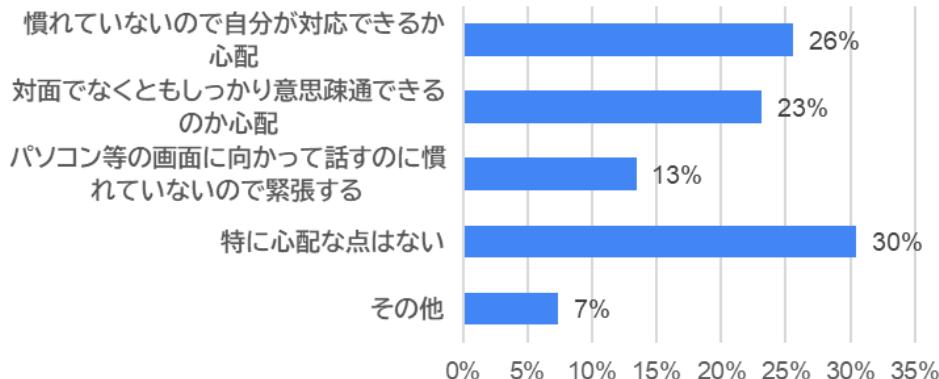
# 事業者さんから見たテレビ相談

## 当拠点とテレビ相談をする前の状況

- 約半数が、仕事でテレビ相談をしたことがない事業者さん

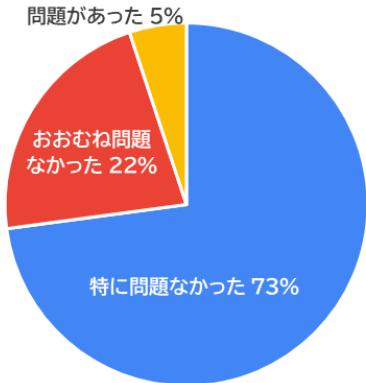


- 69%の事業者さんが、テレビ相談前は何かしらの不安を抱えている

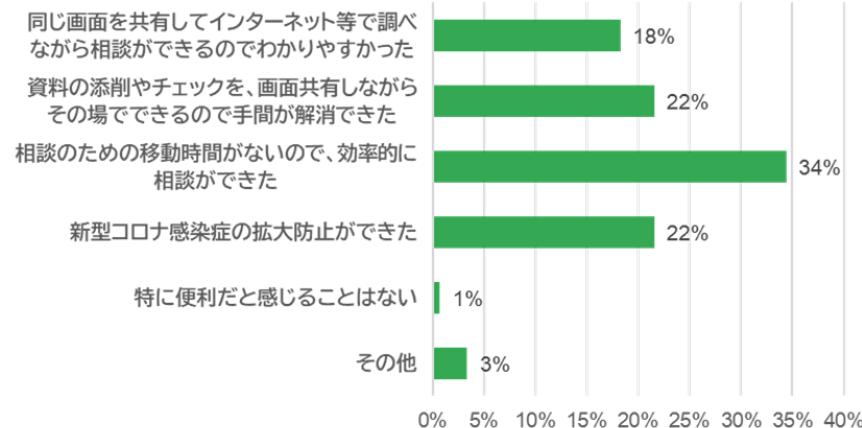


## 当拠点とテレビ相談をした後

- 95%の事業者さんが「テレビ相談をしてみて問題ない」と回答



- 99%の事業者さんが「テレビ相談は便利と感じることがある」と回答



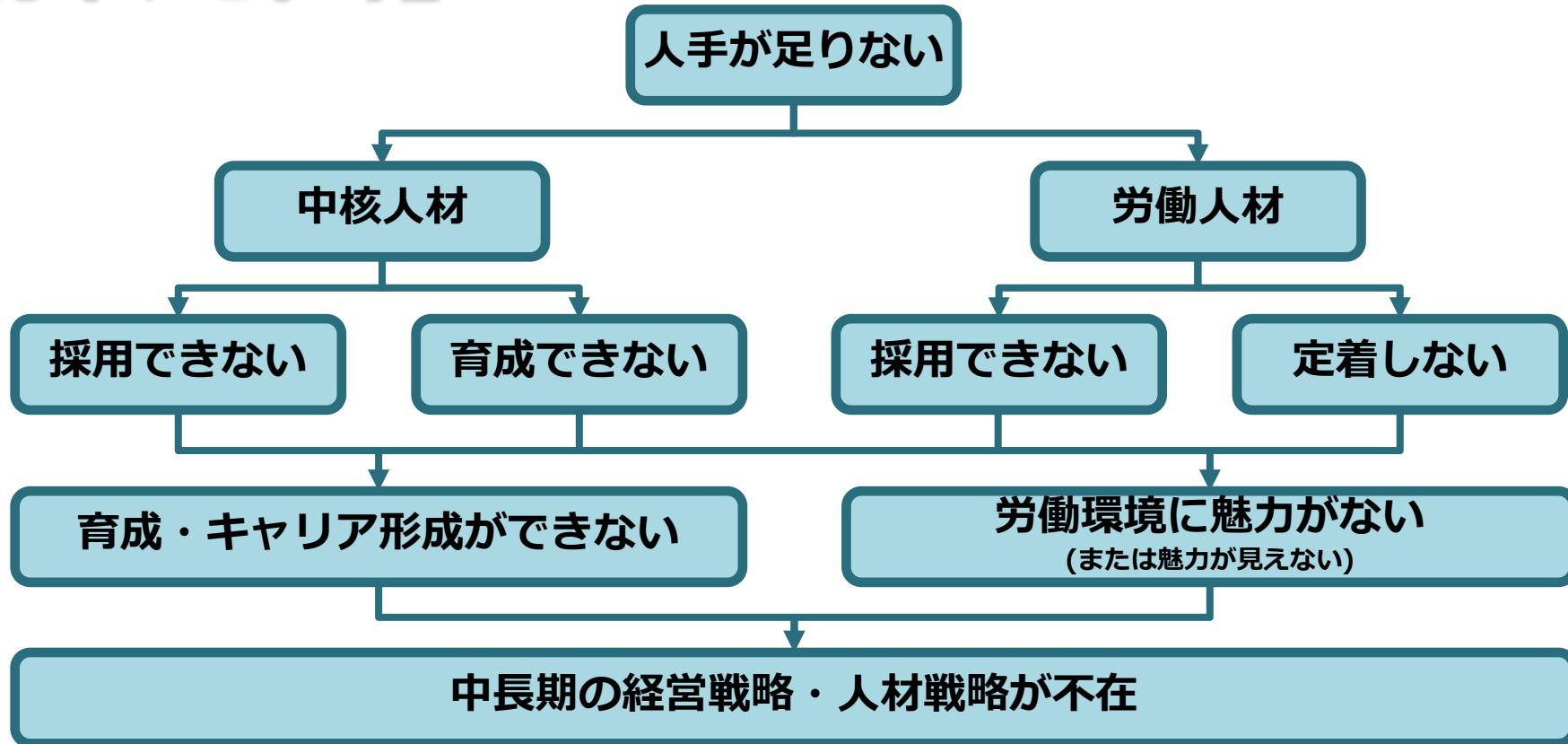
# 人手不足時代を生き抜くために

## 人手不足がなかなか解消しない理由

- ① 人手不足がなぜ発生しているのか、眞の原因と対策を体系的に把握していない
- ② 人手不足は一時的な状況だと感じており、人手不足に対応した事業戦略を検討していない
- ③ 人手不足を「採用」だけで補おうとしてしまっている

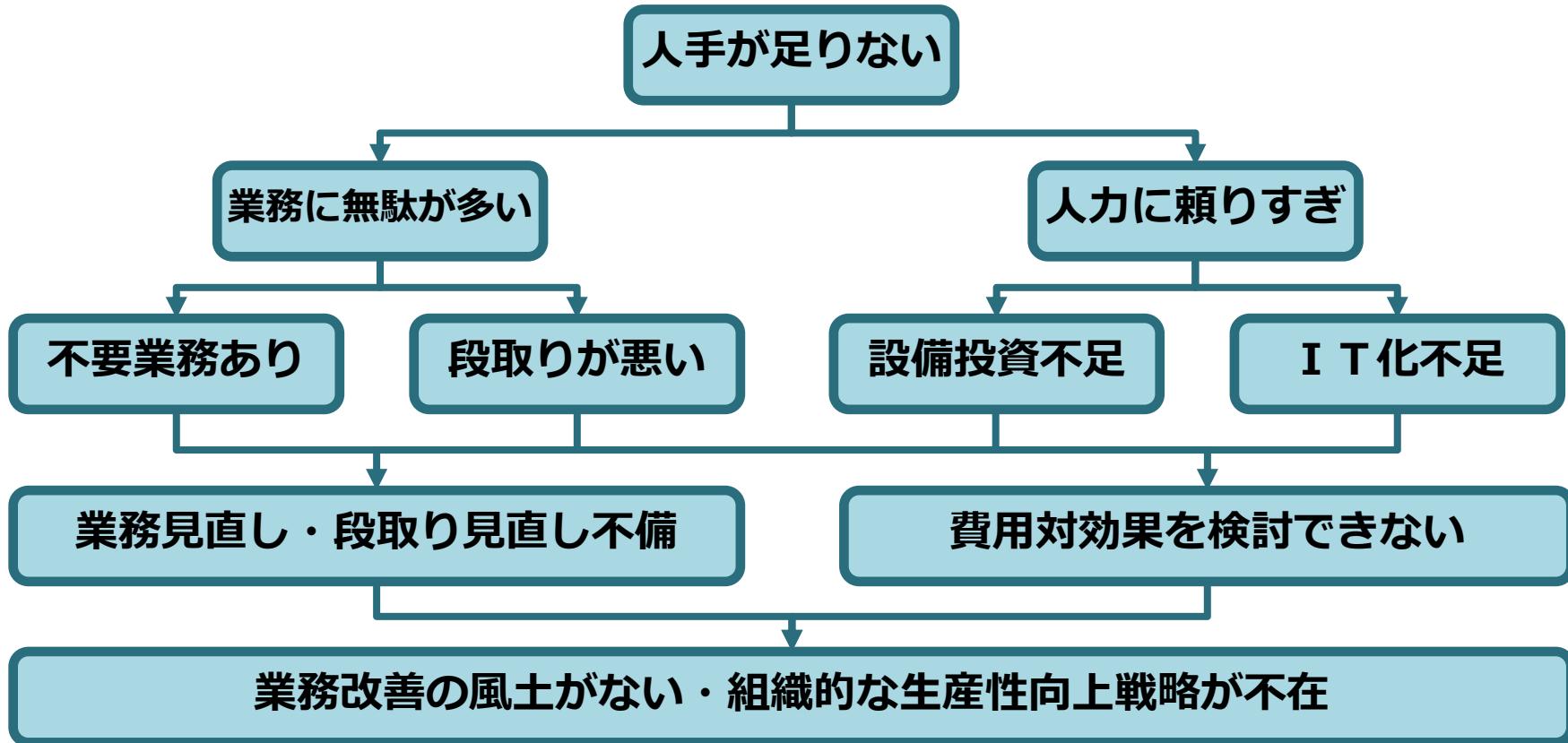
# 人手不足って何？

## 【採用面】人手不足

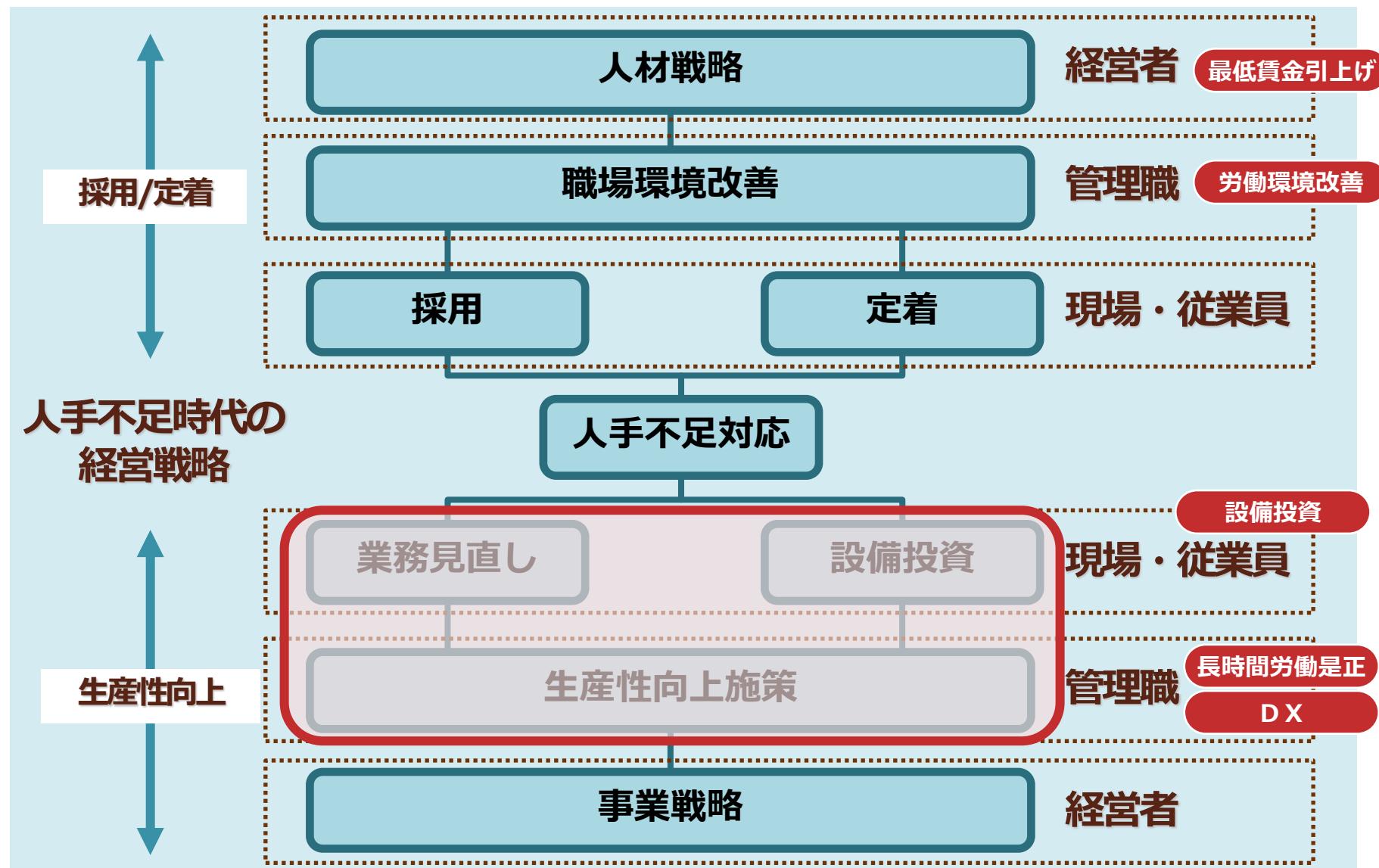


# 人手不足って何？

## 【生産性面】人手不足



# 人手不足時代の経営戦略って？



## ● デジタル化・DX訴求のレベル感 意識してますか？

1. デジタル化、DXを訴求する際に「効率化」や「無駄の排除」だけになっていて、お客様からすると重要度が低い。  
→現場レベルの課題になってしまう
2. 人材離職等によるノウハウ損失など、効率化や作業標準化をしないと事業継続性が確保されないリスクであることを訴求  
→管理職(部門)レベルの課題
3. 作業が標準化され、ある程度誰でも実施できるように細分化されていることで、労働市場で獲得しやすいパート人材等でも業務を任せ、人手不足解消につながる。将来にわたり、人材採用コストやリスクの低減を実現できることを訴求  
→経営者(全社)レベルの課題

# 中小企業生産性革命推進事業



中小機構・生産性革命推進事業サイト  
(<https://seisansei.smrj.go.jp/>)

- 複数年にわたって中小企業の生産性向上を継続的に支援する「生産性革命推進事業」を設置。
- 設備投資、IT導入、販路開拓等の支援を一体的かつ機動的に実施。
- 補正予算措置の推移  
令和元年度補正 3,600億  
令和2年度補正 4,000億  
令和3年度補正 2,001億  
令和4年度補正 2,000億  
(\*次年度以降 +2,000億予定)  
→令和6年まで継続実施できる予算取り



# 補助金・助成金の概要

項目	経済産業省 (主に生産性向上)	設備投資	厚生労働省 (主に雇用維持)	最低賃金引上げ 労働環境改善 長時間労働是正
		DX		
時期	補助金によって期間限定 (通常公募は1~3か月程度)	最低賃金引上げ	隨時助成金募集 (予算がある限り)	
金額	少額~高額まで幅広 (50万円~4,000万円程度)		比較的少額 (20万円~150万円程度)	
支給	事業の経費の一定割合を補助		申請要件に合致すれば支給 (一部助成率適用あり)	
実施機関	補助金事業の実施事務局を公募し、事務局にて受付 (商工会、商工会議所、中小企業団体中央会 等)		原則は労働局で受付	
ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 事業計画を策定し申請を行う</li><li>✓ 応募者間の相対評価となる</li><li>✓ 審査基準を踏まえた事業計画の策定が必要</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 事業計画は不要だが、育成計画等が必要になるケースあり</li><li>✓ 要件合致の絶対評価</li><li>✓ 労務管理体制等の整備が必要</li></ul>	

# 経産省・中小企業生産性革命推進事業

補助金	概要	時期	補助率等
<b>小規模事業者持続化補助金</b>  じぞくか	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 商工会・商工会議所と連携して作成した経営計画に基づき、新たな販路開拓の経費を補助</li> <li>✓ 創業枠・卒業枠・賃金引上げ枠など特定テーマの経営計画で補助上限増加などがある</li> <li>✓ 機械装置費、広報費、開発費、専門家謝金等</li> <li>✓ 前回第9回公募・採択率は約6割強程度</li> </ul>	通年4回程度実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 補助率2/3(一部3/4)</li> <li>✓ 補助上限50万円が基本</li> <li>✓ インボイス発行事業者へ転換する場合補助上限+50万円</li> </ul>
<b>サービス等生産性向上IT導入支援補助金</b>  ITどうにゅう	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 生産性向上につながるITツール（ソフトウェア）および、一部ハードウェアの導入経費を補助</li> <li>✓ ITベンダ（業者）の代理申請（共同申請）</li> <li>✓ 採択率は約5割強程度</li> </ul>	通年実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 補助率1/2～3/4</li> <li>✓ 補助上限450万円</li> </ul>
<b>ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金</b>  ものほじょ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 革新的な商品やサービスを展開する事業者の経営計画に基づき、設備投資を中心に補助</li> <li>✓ 革新性（業界や地域での新しさ）と、事業計画の妥当性（経済性）がチェックされる</li> <li>✓ 前回採択率は6割弱程度</li> </ul>	通年4回程度実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 補助率1/2～2/3</li> <li>✓ 応募類型により補助上限が変動750～4,000万円</li> </ul>
<b>事業承継・引き継ぎ補助金</b>  ひきつぎほじょきん	✓ 経営の革新を伴う事業承継（経営者交代等）の取り組みや、M&A等にかかる専門家経費の一部を補助	通年4回程度実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 補助率1/2～2/3</li> <li>✓ 補助上限800万円</li> </ul>

※申請には、jGrants（補助金の電子申請システム）が必須のものがあります。補助金事業のスムーズな運用のためIT化に対応しましょう。

# ●持続化補助金

- 小規模事業者が自ら経営計画を策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓を支援
- 店舗改装費、設備投資費、広報費、展示会出展費用などを補助

補助額上限	事業者種別	通常枠	特別枠				
			賃金引上げ枠	卒業枠	後継者支援枠	創業枠	インボイス枠
100万円	インボイス転換事業者	100万円			250万円		100万円
50万円	上記以外の事業者	50万円			200万円		-
2 / 3	2 / 3	2 / 3 ※赤字事業者は3 / 4			2 / 3		



[商工会地区HP](#)  
お問い合わせ先は所在地によって異なるため、上記の商工会地区HPをご参照ください。



[商工会議所地区HP](#)

03-6632-1502

# IT導入補助金

- 中小企業の業務効率化やDXを推進するため、ITツール等の導入費用を支援。
- 通常枠は、自社の強みを活かした業務効率化・売上拡大のためのIT導入をサポート。
- デジタル化基盤導入枠は、会計/受発注/決済などのバックオフィス業務のIT化をサポート。

	通常枠		デジタル化基盤導入枠		セキュリティ対策推進枠
	A類型	B類型			
補助対象 経費	ソフトウェア購入費・クラウド利用料（1年分）・導入関連費		ソフトウェア購入費・クラウド利用料（最大2年分）・導入関連費		「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されているいざれかのサービス
補助額	5～150万円未満	150～450万円	50万円未満	50～350万円	5万～100万円
補助率	1／2		3／4	2／3	1／2



←現在の公募  
情報はこちら

# ・ものづくり補助金

- 中小企業・小規模事業者等が取り組む、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援するもの。
- 革新的（≒当社として初めて・業界としてもほとんど例がない・当該地域では初めてなど）な取り組みであることが採択の条件。

	通常枠	デジタル枠	グリーン枠			グローバル市場開拓枠	回復型賃上げ・雇用拡大枠
補助上限	通常枠	デジタル枠	エントリー	スタンダード	アドバンス	3,000万円	最大 1,250万円
	最大 1,250万円		最大 2,000万円	最大 4,000万円			
大幅賃上げを達成すれば、補助上限を引上げ（最大1,000万円） ※事業場内最低賃金+45円など							
補助率	1/2		2/3			1/2	2/3



↑現在の公募情報はこちら

# 事業承継・引継ぎ補助金

- 事業承継・引継ぎ補助金は、事業承継を契機として新しい取り組み等を行う中小企業等及び、事業再編、事業統合に伴う経営資源の引継ぎを行う中小企業等を支援する制度。
- M&Aなど専門家を活用した事業承継・廃業等々が対象。

	経営革新事業	専門家活用事業
経費内容	事業承継後の設備投資等の新規取組み	事業承継時の専門家活用費用等
補助上限額	600万円	800万円 (※一定の賃上げ事業者)
補助率	1/2 ~ 2/3	1/2



←現在の公募  
情報はこちら

# 困ったことは「よろずへ相談！」

- I T の活用だけでなく、どんな経営課題でも相談ください。
- コロナ禍で売上が減ってしまった……
- 資金繰りに不安を抱えているけど誰にも相談できない……
- 補助金活用を検討したいけど、誰に相談すべきか……
- S N S を活用して P R したいけど難しい……
- まずは **022-393-8044** へ



パネルディスカッション

## 「これからの東北地域におけるDX」

※ 佐藤様、西山様のプロフィールは別紙をご参照ください

## 講師プロフィール

氏名	中嶋 竜大 (なかじま たつひろ)
所属 (役職)	株式会社ナナイロ 代表取締役社長
出身地	宮城県仙台市
仕事 (専門領域) の経歴	IT企業の経営の傍ら、WEBサイト・ECサイト等に関する地元企業からの相談を受けることや、IT業界団体の人材確保事業の統括も行い行政や教育機関との連携にも関わる。また、自社の小売店舗の統括も行う。
得意領域、 力を入れている分野	企業としてはアジャイルソフトウェア開発におけるWebアプリケーション開発全般を得意としている。一方で、ソフトウェア開発やWEBサイト制作での対応範囲の広さにも特徴がある。
現在の立場	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）理事兼人財委員会確保グループ副委員長

カンファレンス終了後、アンケートへのご回答をお願い致します。

アンケート回答は以下のURLからお願い致します。

## アンケート

<https://forms.gle/PXE36bYmvL7b2mTXA>



主催

一般社団法人みちのくIT経営支援センター

共催：

特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

後援（順不同）：

東北経済産業局

宮城県

仙台市産業振興事業団

河北新報社

TBC東北放送

一般社団法人みちのくIT経営支援センター

〒980-0812

仙台市青葉区片平一丁目1-3-1004

(NBIコンサルティング株式会社内)

<https://www.mitbac.org>

